評価基準

- 1 審査項目及び評価内容の配点は下表のとおりとし、審査委員5名が採点します。
- 2 総合点合計が最も高い者を契約の相手方として選定します。
- 3 2の場合において、総合点が最も高い者が複数の場合は、選定委員会で協議し、候補者を選定します。
- 4 2,3に関わらず、各選定委員による評価の合計点の平均点が7割未満の場合は、候補者として選定しません。企画提案者が1者の場合も同様とします。

審査項目及び評価内容			配点
(1) 企画の提案内容			
ア	企画及び業務遂行上の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発活動の意義や目的の理解及びその重要性の認識 ・企画、運営等に対する明確なコンセプト、優れた着眼点 ・積極的な取組姿勢 ・業務遂行に必要な体制の確立 ・感染症等の適切かつ十分な感染防止対策 	5
イ	ステージイベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、運営等に対する明確なコンセプト、優れた着眼点 ・人権問題が身近なものとして捉えられる内容 ・適切な出演者の選定 ・専門性、創造性があり、実現可能で実施効果が期待できる内容 ・感染症等の適切かつ十分な感染防止対策 	10
ウ	イベント会場概要図	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの参加者が見込める設定 ・会場全体の回遊性 	5
エ	広報関係	<ul style="list-style-type: none"> ・企画、運営等に対する明確なコンセプト、優れた着眼点 ・SNSやメディア等を活用した効果的な情報発信 	5
オ	参考見積	<ul style="list-style-type: none"> ・計上費目、見積経費の妥当性 	5
(2) ヒアリング			
ア	専門技術力	<ul style="list-style-type: none"> ・提案した企画の技術的な裏付け、方針や手法等の説明 ・関連する業務実績や知識の豊富さ 	5
イ	取組姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施上の課題や問題点の把握 ・提案した企画についての積極的な補足説明 	5
ウ	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する的確かつ簡潔な回答 	5
合 計			45